

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2018.6.15 No. 326 東京・羽村平和委員会発行



CV-22オスプレイ 6月4日に奄美空港に緊急着陸したのは13-0071だった！



CV-22 オスプレイの鹿児島県奄美空港への緊急着陸で、小野寺防衛相は、民間機への影響は「生じていない」としていましたが、同空港発着の国内線2便に最大28分の遅れがでていたことを国土交通省奄美空港出張所が明らかにしました。奄美空港には2機（機体番号13-0071と14-0075）が緊急着陸しました。1機（14-0075）はトラブルはなかったと、4日夕方には嘉手納基地に向かい、5日に先着の3機とともに、4機で嘉手納基地を離陸しました。トラブルがあった機体は13-0071でした。横田基地を5番目に離陸した機体です。

CV オスプレイが4月13日から5月29日までの間に、韓国にいた映像が見つかりました。

CV-22オスプレイ 米本土でも4日に緊急着陸 KC-10、KC-135も緊急着陸



6月5日のエアフォースタイムズ（写真も）によると、空軍は1週間に3回の緊急着陸を報告したということです。

6月4日に、アラバマ州アシュランド付近でフロリダ州ハールバート・フィールド基地の第1特殊作戦航空団のCV-22オスプレイが緊急着陸。けが人なし。部隊は原因を説明していません。



6月3日にKC-10空中給油／輸送機がアイルランドのシャノン基地で緊急着陸。所属はニュージャージー州のマクガイア・ディックスレイクハースト統合基地。このKC-10は太平洋上で戦闘機への空中給油任務を終えて帰投する途中、コックピットで火災発生を示すライトが点灯して飛行中緊急事態を宣言、シャノンに回航。左エンジンのカバーの紛失が発見されました。



5月30日には、ウイスコンシン州空軍ウイスコンシン・ジェネラル・ミッチェル州空軍基地のKC-135空中給油機が落雷の報告後、同州ミルウオーキーに緊急着陸しました。けが人はいませんが、着陸の際タイヤ2個が吹き飛びました。

6月17日(日)は第111回の横田座り込みです。22日(金)はスタンディングも。

6月17日は、いつものフレンドシップパークで13時30分から第111回の座り込みです。ぜひ、ご参加を！

6月22日は、JR青梅線3駅（羽村・福生・牛浜駅）で、15時から16時までスタンディングをします。

5月のスタンディングは3駅で11人の参加でした。こちらにもご参加を。写真は5月22日、福生駅東口です。



嘉手納基地所属F-15戦闘機 沖縄沖で墜落 パイロット大けが (No. 326 裏面)



11日6時25分ごろ、那覇市の南80キロの海上で、飛行訓練中だった米空軍嘉手納基地所属のF-15戦闘機1機が墜落しました。搭乗者はパイロット一人で、緊急脱出し救助されました。パイロットは骨折し大けが。防衛省や米軍によると、F-15は計7機で飛行訓練をしていました。



沖縄県の翁長雄志知事は「そういう状況が当たり前だと言うことでは、将来の子孫に責任を持ってない。」と強い不快感を表明しました。県は、安全が確認されるまでの同型機の飛行中止を米軍に求めました。が、13日、飛行訓練再開です。

F-15戦闘機は、沖縄の空自那覇基地に約40機、米空軍嘉手納基地に54機配備されているそうです。酷いですね。

CVオスプレイ5機は フロリダ州ハルバート・フィールド基地に所在していた



横田基地に4月5日初飛来したCV-22オスプレイ5機は、「フロリダ州ハルバート・フィールド空軍基地に所在していたものとの説明を受けています。」と北関東防衛局が5月30日付けの「CV-22オスプレイの横田飛行場への配備について」に書いています。この文書は、東京都と周辺市町連絡協議会の要請への防衛省の回答です。(この文書は検索できるのでぜひご覧を。)

ハルバート・フィールド空軍基地には、空軍特殊作戦コマンド (AFSOC) が所在しています。特殊作戦を実施する部隊で、敵地潜入や対テロ作戦、偵察・観察、戦闘捜索救難のほか、ラジオ・テレビなどを用いた心理戦も行います。必要に応じ世界各地へ展開し作戦を行います。ビン・ラディンを殺害したのも、特殊作戦部隊です。

「CV-22横田配備に関する環境レビュー」を作成したのが、この米空軍特殊作戦コマンドです。空軍特殊作戦コマンドには10を超える麾下部隊があり、沖縄・米空軍嘉手納基地の第353特殊作戦群もそのひとつで、米太平洋軍指揮下にあります。横田基地に夏頃配備予定のCV-22は、当面、嘉手納基地の米空軍第353特殊作戦群の第1分遣隊になると言われています。

麾下部隊の一つにイギリスのミルデンホール基地があり、既にCV-22が配備されています。米ニューメキシコ州のキャンオン基地、カートランド基地にもCV-22が配備されています。

英国ウェールズの美しい丘陵地が黒こげ オスプレイの下降気流が原因

5月22日、米軍のオスプレイがイギリスで訓練中に山火事発生。鎮火したのは8時間後。150ヘクタール(東京ドーム32個分)を燃やしました。消防隊の広報担当は「地上をホバリングしていたオスプレイから発生した下降気流が火事の原因だ」と語っています。

オスプレイが熊本地震後、復興支援に行った時、着陸する地面に貴重な水をまきました。和歌山でも芝生を焦がしました。こんなオスプレイ、日本の何処にもいない!

